

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスMORE～モア～折尾校 2nd		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 2 月 16 日		～ 令和 8 年 3 月 24 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和 8 年 2 月 12 日		～ 令和 8 年 2 月 20 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 27 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりに寄り添い、児童のニーズまた、保護者ニーズに沿った支援を行う。個別療育、専門的支援に積極的に取り組む。	言語に対して子どもたちが興味を持つことが出来るよう、会話の楽しさに気づいてもらうことが出来るよう、積極的に興味の湧くような支援を行う。	今後、支援の充実を図るために、環境構成、個別療育の支援内容を支援会議等の中で全員が共通理解、共通支援をすることが出来るよう煮詰めていく。
2	児童が楽しんで笑顔で帰ることを第一目標としている。その結果、欠席率が低く、みんな苦手な学習においても取り組むことが出来ている。	職員側が子どもたちの意見をしっかりと汲み取ることが出来るよう、そして、子どもの意見を取り入れることが出来るように工夫をする。	子どもたちへの伝え方についてのコミュニケーション研修を積極的に行う。
3	それぞれの発達段階を考えながら、スモールステップでの支援において、無理をすることなく、療育を受ける機会を作るようにする。	子どもが職員に対して話しかけやすく信頼関係を築きやすい環境・状況を作るようにする。	発達障がいそれぞれの特性について職員間においてそれぞれの意見交換などをし、みんなで学び生かすという姿勢で取り組む。(障害特性において絶対はない)

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会が少ない。	地域交流として、公園などで出会った児童との交流程度しかできていない。下校時間の差があるためになかなか難しい。	長期休暇を活用し、地域の行事への参加の機会を設けるように
2	感染症対策マニュアルなどの事業所における決まりを保護者に対して周知することが出来ていない。	マニュアルについて紹介することしかしていない。	契約時に保護者に対してマニュアルの最重要項目を説明し、周知をする。
3	家族支援について保護者が相談しやすい環境づくりを行う。	こちらからご自宅に訪問し家族支援を行うこともできるということを保護者へ周知する。	全職員が保護者からの相談等にこたえることが出来るように職員間の情報共有を徹底し、誰もが保護者からの相談、今の子ども様子について答えることが出来るようにする。